

インフォメーション

大気汚染物質に注意しましょう

光化学オキシダントは春から秋までにかけての晴れた日に、PM2.5（微小粒子状物質）は冬から春までにかけて、それぞれ高濃度になる傾向があります。大気汚染物質の注意などに関する情報は、県のホームページ、伊万里ケールテレビジョンのデータ放送、西海テレビのL字放送、各町公民館を通じてお知らせします。情報を入手して適切に対応しましょう。

■光化学オキシダント

光化学オキシダントとは、自動車の排気ガスや工場の煙などに含まれる大気汚染物質が、太陽の紫外線を受けて化学反応を起こすことで発生する物質のことをいいます。濃度が高くなると、目がチカチカする、のどが痛むなどの健康被害がみられることがあります。県では、光化学オキシダント濃度（1時間値）が0.12ppm以上になり、気象条件からみて大気汚染の状況が継続すると認められるときに注意報を発令します。



■PM2.5（微小粒子状物質）

PM2.5とは、粒径2.5μm（2.5mmの千分の1）以下の粒子状物質です。粒子が非常に小さく肺の奥深くまで入りやすいため、喘息や気管支炎などの呼吸器系疾患への影響のほか、肺がんリスクの上昇や循環器系への影響も懸念されています。

県では、PM2.5の濃度が1日平均1μg当たり70μg（国の暫定指針値）を超えると予想される場合、午前7時30分と午後0時30分をめぐりに注意喚起をします。PM2.5の情報は、NHK総合テレビのデータ放送でも見ることができます。

▼外出を控え、屋外での激しい運動は自粛しましょう。
▼屋内では、換気や窓の開閉を必要最小限にしましょう。

■注意報などが発令されたら

● 応募・問合せ
環境課生活環境係
☎2144

● 応募・問合せ先

☎2144

ごみ対策協議会 委員を募集します

市は、ごみの減量化とリサイクルに関する事業を推進するため、『伊万里市ごみ対策協議会』の市民委員を募集します。

- 募集人数 3人程度
- 応募資格 高校生を除く18歳以上の市民で、ごみの減量化やリサイクルに関心がある人
- 任期 2年
- 応募方法 所定の応募用紙を提出

※応募用紙は環境課にあります。市のホームページからダウンロードもできます。

- 募集期限 4月28日（金）
- 応募・問合せ先
環境課リサイクル推進係
☎2145

安全・安心情報を手に入れよう 『防災ネット あんあん』



← 登録はこちら

防災ネットあんあん
佐賀県情報 QRコード

※ 携帯電話のバーコードリーダー機能で撮影すると、簡単に登録サイトへ進むことができます。

『生活情報』の『光化学オキシダント・PM2.5 情報』にチェックを入れてください。

▷ 防災ネットあんあん <http://esam.jp/>

● 問合せ先 佐賀県政策部消防防災課
☎0952-7026



↑リサイクル施設視察研修の様子（平成28年11月・江北町）

『次代を創る研修』参加者を募集します

市民の皆さんと行政との協働のまちづくりを推進するため、地域づくりのリーダーを養成することを目的に、『全国地域づくり人財塾』へ派遣します。自分の住む地域をどうにかしたいと考えている意欲のある人、応募してみませんか。

● **日程** (2泊3日)

5月10日(水)～12日(金)

● **場所**

全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市)

● **内容**

知識や経験、アイデアを生かしながらさまざまな地域づくり活動を行うための企画・実践方法を学びます。

● **参加料・旅費**

無料(市が負担)

● **応募資格**

地域や団体でまちづくり活動をしている市民

● **応募方法**

地域や所属団体からの推薦書と応募用紙、『応募の動機と現在の活動状況について』(400字程度)を提出し、応募用紙などは、まちづくり課、各町公民館、市民図

伊万里の未来を
背負うのはあなたです



書館、市民センター、市民交流プラザにあります。市のホームページからもダウンロードできます。

● **募集人数** 2人

※市で選考後、通知します。

● **募集期限**

4月28日(金)

● **応募・問合せ先**

まちづくり課まちづくり推進係(☎☎2114)

男女協働参画懇話会『いまりプラザ』委員を募集します

男女協働参画社会の実現と『すべての人がきらめくまち』を目指し、一緒に活動してませんか。

● **活動内容**

啓発イベントや出前講座の開催。男女協働参画社会に向けた調査・研究など

● **活動回数**

月1回程度

※会議は主に平日の夜開催

● **募集人数**

7人程度

※応募多数の場合は書類選考

● **応募資格**

20歳以上の市民

● **委員の任期**

2年



↑男女協働参画に関する紙芝居による出前講座



↑男女協働参画の視点から防災学習会を開催

● **応募方法**

応募用紙を男女協働推進課に提出

※応募用紙は、男女協働推進課、各町公民館、市民図書館、市民センター、市民交流プラザにあります。市のホームページからもダウンロードできます。

● **募集期限**

4月20日(木)

● **応募・問合せ先**

〒848-8501 伊万里市立花町1355番地1
男女協働推進課

● **メールアドレス**

(☎☎2115)

danjo@city.imari.lg.jp

→市役所の正面玄関横に設置している伊万里っ子ポスト

→市役所の正面玄関横に設置している伊万里っ子ポスト

→市役所の正面玄関横に設置している伊万里っ子ポスト

→市役所の正面玄関横に設置している伊万里っ子ポスト

伊万里っ子ポストを活用してください

市民の皆さんとの協働による市政の実現をめざし、市役所や各町公民館、市民図書館に『伊万里っ子ポスト』を設置しています。皆さんからの建設的なご意見、ご提案をお待ちしています。

※記入用紙は伊万里っ子ポスト横に設置しているほか、市のホームページからもダウンロードできます。

※メールでも提出できます。

● **メールアドレス**

johnou@city.imari.lg.jp

● **問合せ先**

情報広報課市民サービス係(☎☎2133)

→市役所の正面玄関横に設置している伊万里っ子ポスト



→市役所の正面玄関横に設置している伊万里っ子ポスト

『ゆめづくり事業』を募集します

市民の皆さんの自主的な活動を支援する『伊万里市21世紀市民ゆめづくり計画支援事業』について、今年度の事業を募集します。

●応募できる団体

市内で活動する3人以上のグループで、うち1人は成人で、会員の過半数が市内在住・在勤の人で構成されていること

●対象事業

(支援期間・補助金額)

① 具体的な事業を行う『まちづくり計画実施事業』

▽ 支援期間 最長3年間

▽ 補助金額 50万円以内

※ 3年間の補助金総額は100万円以内

② アイデアや計画を調査・研究する『アイデア立案事業』

▽ 支援期間 1年間

▽ 補助金額 10万円以内

● 募集期限 4月28日(金)

● 応募方法 応募用紙をまちづくり課に提出

※ 応募用紙は、まちづくり課、

各町公民館、市民図書館、市民センター、市民交流プラザにあります。市のホームページからもダウンロードできます。

●応募・問合せ

まちづくり課まちづくり推進係 (☎ ☎ 2114)

『ゆめづくり事業』成果報告会を開催します

平成28年度『21世紀市民ゆめづくり計画支援事業』で採択された6件の事業について、実施団体がその成果を発表します。お気軽にご参加ください。

●日時

4月14日(金)

午後7時～9時

●場所

市民センター

●採択事業(報告団体)

① 地域交流拠点施設を核とした高齢者支援活動事業(地域力創造を目指した地域ウェルネス拠点整備の研究)

(特定非営利活動法人NPO 栄町地域づくり会)

② 板木法行太鼓保存育成事業(板木法行太鼓保存会)

③ 伊万里2910プロジェクト・新ご当地グルメなどの開発事業(伊万里2910プロジェクト実行委員会)

④ 温故知新 親子でふるさと探検・体験(伊万里市観光ボランティアガイドの会)

⑤ 和太鼓ふれあい事業(伊万里太鼓の会)

⑥ 子育て支援事業(NPO法人のいちご会)



↑平成28年4月14日の報告会の様子

●参加料

無料

●問合せ

まちづくり課まちづくり推進係 (☎ ☎ 2114)



中国語の発音

2月から、私が講師を務める初級中国語講座が始まりました。受講者の皆さんのおかげで、楽しく授業をしています。塚部芳和市長も受講者の一人です。

講座の中で、受講者から、中国語は発音がとても難しいとよく聞きます。私もそう思います。中国語の発音は、日本語にはない発音もあり、中国語の難しさはこの点にあります。中国語と日本語は、どちらも漢字を使うため、文字は似ていますが、発音は似ていないので、日本人にとっては発音が最大の壁といえます。中国でも、方言が多く、各地域によって言葉が全く異なる場合があるので、小学校で標準語の基本となる発音を勉強します。子どもの頃は、耳で聞いて、他の人の発音を模倣して覚えます

が、大人になって外国語を勉強するときは、自分の国の文字で、外国語の発音を表記しようとする場合が多いです。

しかし、ほかの国の言葉には、自分の国にはない発音やイントネーションもたくさんあります。例えば中国語の発音に、日本語で当てはまる発音がないような場合、カタカナだけで中国語を表記するのは難しく、そのまま発音しても、日本語的な発音になりがちです。それではどうやって勉強すればいいのでしょうか。一番は、その国の発音をしっかり学ぶことですが、慣れるまでは、教科書に中国語、英語、日本語などの文字で似通っている発音を表記します。そして後から中国語の発音練習をするのも、一つのいい勉強方法だと思います。伊万里市は今年、友好交流都市である中国大連市との交流30周年を迎えます。これから交流の機会も増えると思いますので、皆さんこの機会に、私と一緒に勉強してみませんか。

波多津東幼稚園と波多津小学校・波多津東小学校が長年の歴史に幕

3月19日、波多津東幼稚園で閉園式と思い出を語る会があり、昭和43年の開園以来48年の歴史に幕を閉じました。閉園式で松本眞理子園長は、「長年、さまざまな場面で地域の皆さんに支えられてきました。感謝の気持ちでいっぱいです」と述べました。

思い出を語る会では、園児によるお別れの言葉や、開園から閉園までの歴史を振り返るスライドショーのほか、園

児、保護者、卒園児などが歌やダンスなどを披露しました。



↑式には卒園者や地域の住民などが大勢駆けつけ、思い出の園舎と記念撮影

また、3月25日、学校統合により閉校する波多津小学校と波多津東小学校で、閉校式がありました。両校では、閉校式に併せて記念行事を開催。児童による一輪車のダンスや合唱、音楽劇などが披露されました。

なお、今回の学校統合に伴い、平成29年度からは波多津東小学校の校舎で、新しく『波多津小学校』としてスタートしました。

図書購入費寄付の金子さんに感謝状を贈呈

金子和斗志さん（中井樋・アイ・ケイ・ケイ株式会社代表取締役社長）が、小・中学校の図書購入費用として、2



金子さん（中央）に感謝状を贈る塚部市長。右は妻の金子晴美さん

月17日、2300万円を市に寄付しました。昨年亡くなった母・和枝さんの思いを受けた継いだもので、平成29年度、各校に『金子和枝文庫』が開設されます。金子さんは、これまでにも2回本を贈っていますが、今回は、子どもたちが読みたい本を学校で選んで購入してもらおうと寄付したものです。

多額の寄付に対して、塚部芳和市長は、3月8日、和枝さんの母校である黒川小学校



↑黒川小学校の図書室に設けられた『金子和枝文庫』（仮設）

で感謝状を贈りました。金子さんは、「母も恥ずかしがりながらも喜んでいと思う。子どもは地域の宝。たくさん読んで光り輝いてほしい」と話しました。

市長雑感

伊万里市長
塚部 芳和

M先生

（M先生・追想）私が教員になって最初の赴任先は波多津中学校。バスで通勤中、ある男子小学生に手を挙げてあいさつを交わすのが日課でした。翌年、その少年は波多津中学校に入学してきました。社会科の授業中に「砂漠を緑地にしたらノーベル賞をもらえるぞ」と言ったら、その少年は目を輝かせていたことを覚えています。また、顧問をしていた野球部にその少年は入部してきました。小柄ながら器用だったこともあり、二塁手に起用していましたが、中学3年の中体連の試合中、アクシデントが発生。盗塁してきた一塁走者と二塁ベース上で交錯し、倒れたまま起き上がれ

ないのです。左足首付近から出血していて、すぐに近くの病院に運ばれました。その夜、少年宅を訪問しました。7針縫う大けがですが、少年の祖母に「先生に野球を教えていただいた証しとなる名譽の傷です」と言われて、気持ちが少し楽になりました。

時は流れ、大人に成長した彼と再会し酒を酌み交わすと、左足にはあのとときの傷がくつきりと残っていました。しかし、傷のことは何一つ言わず、私が授業中に言った「砂漠の緑地化でノーベル賞」の言葉が大学農学部に進学するきっかけとなり、目標を持って成長することができたことと笑って話してくれました。

この少年は、実は私自身です。残念ながらM先生は今年2月に他界されましたが、少年時代に与える先生の影響の大きさは、その人の一生を左右するといっても過言ではありません。異動の季節。どんな先生と巡り合うのか楽しみな新学期が始まります。今も時代を超えてこのような光景が変わらないことを祈ります。